

報告事項

酒田市体育施設整備懇談会の開催状況等について

1. 目的 酒田市スポーツ推進計画に基づく体育施設の整備を進めるにあたり、改修を要する当該体育施設に対して、利用する関係団体等から改修に向けて様々な意見を聴取するために、酒田市体育施設整備懇談会（以下「懇談会」という）を設置するもの。

2. 懇談内容

急な改修を要する体育施設	課題	会議回数	方針等	改修等
光ヶ丘野球場	・老朽化（築22年） ・排水状況の悪化	2回	・今後の施設の在り方	・照明改修 ・本部棟の改修（雨漏り） ・グラウンド改修（暗渠等の入替／人工芝化）他
市体育館	・老朽化（築49年）	2回	・今後の施設の在り方 ・スワンスケートリンクの在り方	・体育館機能の新設・統廃合 ・スケートリンクの移転 ・製氷機等設備の更新 他

3. 会議等

外部会議と内部会議を交互に開催し、互いの意見を聴取・交換して検討していく。

※事務局はスポーツ振興課内に置く。

《外部会議：酒田市体育施設整備懇談会》

委員：教育次長、競技団体関係者（推薦団体：酒田市体育振興会、酒田市スポーツ協会、酒田市スポーツ推進委員会、酒田市スポーツ少年団本部、酒田市総合型スポーツクラブ情報交換会、酒田地区野球連盟、酒田ソフトボール協会、庄内スケート協会、酒田卓球協会）

委員人数：各団体より1名

委員任期：R4.7.1～R5.3.31

《内部会議：庁内検討会議》

総務部長、企画部長、建設部長、教育次長、総務課長、財政課長、企画調整課長、整備課長、建築課長、スポーツ振興課長

4. スケジュール（見込み） ※R4.10.11 現在

7月 第1回懇談会（光ヶ丘野球場）

8月 第2回懇談会（市体育館）

10月 庁内検討会議・関係部課長

- 第2回スポーツ推進審議会で経過報告
- 1 1月 第3回懇談会（光ヶ丘野球場）
- 1 2月 第4回懇談会（市体育館）
- 1 1月 庁内検討会議・・・関係部課長
- 2 月 第3回スポーツ推進審議会で経過報告

5. 開催状況等

(1) 令和4年度第1回酒田市体育施設整備懇談会

- 開催日時 令和4年7月26日（火）午前10時～11時半
- 場 所 酒田市役所三階第一委員会室
- 出席委員 池田里枝、中條庸右、荘司敏博、尾形律香、丸山清、川守田義則、
（代理）長南八重智、（代理）石渡伸一
- 欠席委員 齋藤勉、丸山昌彦
- 事務局 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、齋藤課長、梶原補佐、
土門主査兼係長、本間調整主任
- 検討施設 光ヶ丘野球場

《主な意見等》

① 【大規模改修をしてほしい】【建て替えてほしい】

- 全面的な改修をしていただきたい。何年かかっても改修してもらいたい。
- 建て替えなど、大々的なリフォームをしてもらいたい。予算は企業に協賛していただき、広告を載せるとか、球場に企業の名前をつけるとか。地域全体の企業から協賛いただいて、盛り上げるようにならないのかなと思う。
- 酒田のメイン球場は必要だと思うし、建て替えるしかないのではないかと。改修費が莫大だと思うので、中期、長期計画を立てていただき、予算、人口減少、他球場との兼ね合い、サブグラウンド化や第二球場化も検討していただきたい。そして多目的に使えるようにしていただきたい。これから競技チームも減るだろうから、空いている時間は、他の競技で使うなど転用可能の施設の方がいい。
- プロ野球や高体連の大会などを呼べる方がいい。子供たちの夢に繋がるような、目玉的なものを作らなければいけない。
- プロ野球を呼ぶ場所がないことは寂しい。
- 野球ばかりではなく、多目的な商業的イベントでの利用も考えて、酒田にもドーム球場があればいい。酒田は海風があるので室内施設があればいい。
- 老朽化している光ヶ丘野球場を補修するより、全部作り変えた方がお金がかからないのではないかと。飯森山の国体記念体育館の後ろあたりに、新しく建てることを考えてもいいのではないかと。跡地利用をソフトボール専用にしてもらいたい。
- 県大会で選手に着替えをさせようとしても選手控室が老朽化していて、とても案内できない。
- 子どもから野球を「酒田ではしたくない、鶴岡でやりたい」と言われている。
- 光ヶ丘野球場は下におりていくという形状だが、最近雨が多く、数年前に冠水した。その後、本部席の壁に足がぶつかっただけで穴が空くようになった。下に降りていく形状はやめていただきたい。
- 人口が減っているため、光ヶ丘野球場をメインにするのであれば、国体記念体育館の後ろに新球場建設の案も考えられる。しかし、今の市の情勢、予算の関係で無理だと感じる。来年、国体記念体育館の大規模改修が入り、その後、八幡体育館の改修もあ

る。だから財政的に厳しいのではないか。人口が減り、税収も減り、これだけの施設を抱えたまま進めていいのか。野球はやはり光ヶ丘野球場をメインにして、そこに予算を計上する考え方でいく方がいいのではないか。そしてメイン球場を酒田の顔にすればいい。

② 【照明改修について】

- 極論だが、照明は無くてもいい。ナイターは特定団体の練習か、年1度、大会で使用する程度。照明は無くても、野球場としては十分やっていけるのではないか。今の照明は、できればすぐに撤去していただきたい。
- ⇒(事務局) 野球場については、照明器具は、調査の結果、建て替えるしかないということがわかっている。
- 現在、照明の危険個所をコーンなどで囲っているが、子どもが入ってしまうのもっと嚴重にしていきたい。

③ 【スピードガンを設置してほしい】

- 以前は、スピードガンが贅沢品だった。しかし現在は必須である。
- 自分のスピードが気になることが多く、また見ている方にしても、投げているスピードは気になる。
- スコアボードを設置した請負業者等によると、スピードガンは設置できるようにしてあると言われた。配線してあるかはわからない。

④ 【グラウンド状況を改善してほしい】【人工芝化してほしい】

- 外野芝は凸凹が酷く、外野の選手がエラーしてしまうことが多い。県大会以上の大会前には芝刈りをした方がいい。
- グラウンドで野球ができることが絶対条件。土は、最近は良くなってきている感じがする。ただ小石が混じっていて整備で拾っている。
- グラウンドは、土ではなく砂だし、水はけも悪い。少し雨が降ったら、試合ができない状況になる。
- 野球場の外野は天然芝だが、人工芝にするという考えはいかがか。
- ⇒(委員) 現在、人工芝は材質、精度が上がっているので全面人工芝というのは問題ない。メンテナンスは、定位置の芝が剥げていくので、損傷が激しいが部分改修は可能。プレーには人工芝でも問題ない。かえって人工芝の方が雪国の東北にはいいはず。

⑤ 【雨漏りを直してほしい】

- あの雨漏りは直せるのか。
- ⇒(事務局) どこから雨が漏れているかわからないので、スタンド全体をコーティングして、全部くるむような防水処理で直せる。雨漏りは全面防水をして止める修繕をする方針。
- ⇒(委員) 去年、米沢市野球場でその修繕行い、雨漏りを直していた。去年1年間はグラウンドを閉鎖して、スタンドの椅子を全部撤去して、防水工事した。この前行って来たが、全然、雨漏りはしていなかった。

⑥ 【トイレの数が少ない。】【和式トイレを洋式に改修してほしい】

- 小さい子には和式トイレは厳しい。トイレの数も少ない。
- 野球場の収容人数は10000人で多いのに、トイレの数が少ない。

○トイレの件だが、中学校の女子ソフトボールの生徒は、野球場のトイレが和式なので、入りたくないとのことだった。洋式化も考えてなくてはならない。

⑦ 【救護施設を充実してほしい】【高校野球が開催できる施設にしてほしい】

○夏の高校野球県大会を酒田で開催できない理由は、グラウンドの状態が悪いことも理由の一つだが、高野連によると、救護体制がとれないからとのこと。救護室は1室あるが、狭いし、形状は細長い。ベッド1個置いてあるだけで、熱中症で倒れた場合、何人も寝かせておけない。

○熱中症になった一般人に対応できるような手洗い場など、水を体にかけてられるような水道もない。コロナ感染の手洗い場もない。トイレしかない。

⇒(委員)この施設は20年以上前に建設された施設なので、コロナに対応した整備はしていない。

○医務室は、倒れた時に寝かせて大丈夫か疑問。高校野球の地区予選がやれる状況になれば、ある程度の問題は解決すると思う。

⑧ 【屋内練習場について】

○屋内練習場は、なかなか借りることができない。一棟だけでは不足である。

○室内練習場はズックではストップが効かない状態。水をまかないと土がアスファルトと同じくらいに固くなる。

○屋内練習場は人工芝化できたらとても良い。

⑨ 【その他】

○昔は光ヶ丘野球場に一軍のプロ野球、巨人などが来ていた。誘致することも考えた方がいい。

○多目的グラウンドの前は道路がカーブしていて、大会等で歩道に座って応援する人が多く危険。

(2) 令和4年度第2回酒田市体育施設整備懇談会

開催日時 令和4年8月30日(火)午前10時～11時半

場所 酒田市役所三階議会会議室

出席委員 池田里枝、中條庸右、荘司敏博、尾形律香、丸山清、富樫惣一、齋藤美樹

欠席委員 齋藤勉

事務局 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、齋藤課長、梶原補佐、土門主査兼係長、本間調整主任

検討施設 市体育館(スワンスケートリンク)

《主な意見等》

① 【大規模改修してほしい】【新設してほしい】

＜体育館利用・卓球＞

○現在の場所が危険で使えないなら、別の場所に建ててほしい。

○床はセメントなので雨が降ると湿気で滑って危ない。他にする場所がないので市体育館で大会を開催するしかないが、可能なら、やはり木の体育館でやらせてあげたい。

○ハザードマップにも浸水域とあるし、市の施設整備方針にもあるように、この場所ではもう無理ではないか。耐震もダメだろうし貸出にも危険が伴う。ここはもう使用で

きないのではないか。屋内は少しずつ直しているようだが。しかし年間2万人以上の利用者がいる。

- 女子更衣室だが、体育館側から入らなければならない構造なので、ほとんど女子は使わない。ベンチに座って、隠れて上手に着替えるが、やはり高校生になると可哀そうである。
- 大会用に、もう一つ大きな体育館は必要だと思う。
- 体育館使用の時、下がコンクリートなので、子供たちが転ぶと膝を擦りむいて怪我してしまう。
- 県大会の会場なのに、試合に出場する選手が、椅子が壊れているので座れない。選手自体もそこに居れないような状態。
- レトロで可愛いデザインだが、換気をする際に窓枠が落ちたということで、とても危ない。
- 夏場に市体育館を使っているのは、ほとんど卓球だが、照明は暗いし、換気は出来ないし、トイレは古くて怖い。他の競技と比べて不公平だと思う。
- 来年、酒田市が当番で卓球の中学校の県大会があるが、ここは使えない。卓球の球が小さいのに照明は半分以下しか点灯せず、曇っていればかなり見えにくくなる。しかし当番は回ってくるので、場所は鶴岡か田川のどこかを借りてスタッフだけが酒田というのは恥ずかしい。
- 防球フェンス運搬車があるが壊れている。中学生もそれを使うが、バーが壊れているので、怪我が心配。
- 大きくなくても良いので、夏場・冬場大会が出来るような、場所が必要。
- 国体記念体育館はいつも体操かバレーボールが使っている。新体操は人数が少ないが、国体記念体育館にしか用具がないから使用する。競技人口の多い卓球が場所探しで、いつでも困っているという状況である。
- 夜間に使用すると暗い。
- 床でも木で仮設のスケートリンクが作れるが、フローリングが全部へこんでしまうと思われる。

<スケート>

- この施設が使えないのはもう分かる。それを使っているのだから、スワンリンクは本当に苦労している。
- スケートリンクを設置する場合、レベルを全部図るが、一番高い所と一番低い所で17.5cm違う。それが毎回地震の度に場所が変わり、さらに河川敷で地盤も弱いように、氷が乗れば重さで沈む。地震の度に別の個所が陥没していく。氷の厚さが違うので厚いところは固まらない。今は断熱材で高さを調整して、ほぼフラットにしている。
- アウトドアのリンクは盆地に作るのが一般的。海岸線の湿度で、しかも風の強い平野には作るものではない。
- 大会が開催出来る公式リンクができれば赤字の大会も開催しなくなるというデメリットもある。1年おきに国体を開催しているリンクもある。
- 企業から援助をいただけないか。スケートが無くなったら困るので何とか存続できる案があればいいと思う。
- 酒田市民にとってスケートは大変重要なので、スケートが出来る屋内施設をどこかに。
- 「もし酒田にリンクが出来たら使用するか」と高体連を通して全国の専門部がある県にアンケートを取った。その結果、使用したいという意見が一番多かったのが長野、

続いて北海道だった。北海道は課外授業がスピードスケートだし、使っているリンクが全部ホッケー用なので、フィギュアは滑れない。そのため、酒田にリンクがあれば来たいとのことだった。

- スケートリンクは子どもたちのために必要。私たちの時はスキーだった。
- 酒田市として特徴ある、魅力あるスポーツ施設というのはスケートリンクだと思う。
- 小学生はスワンリンクでスケートを習う。スキー場は縮小されており、それは致し方ないがスケートは残してほしい。

②【施設の利用状況】

< 体育館利用・卓球等 >

- 卓球は、冬は主に国体記念体育館を使って試合をしている。しかし冬は外のスポーツも国体記念体育館を使うので重なってしまう。
- スポ少などの卓球大会では、夏は市体育館を使っている。スポ少の県大会は順番で酒田に回ってくるが、国体記念体育館でやればいいのだが、他の競技で使っているのので、夏の試合はできず、市体育館で開催してしまう。暑いし、汚い。トイレや座るところなど。役員からは、「市体育館では県大会するのが恥ずかしい」という意見が出ている。
- 酒田市体育館はインターハイのバレーボール会場として建設された。完成当時から雨漏りしていた。床は緑色のペンキが塗られていて、コンクリートである。スライディングすると擦りむいてしまう。カーテンも最初のころは緑色だった。今は窓枠にも触るなど書いてあり危険。
- 他競技と同様に平等に国体記念体育館を使わせてあげたい。中体連の考え方が重要。
- 卓球は、今盛り上がりしており、応援したい気持ちがある。住み分けしながら、体育館は他にもあるので、考えた方がいい。
- 危険なため、卓球やスケート以外の競技スポーツで市体育館を使うことはできない。よく市体育館でインターハイが開催できたと思う。

< スケート >

- 酒田市で中学校の県大会全競技が同時期に集中するので、施設利用が重なるのが一番の課題。県内に全部散らばるように中体連にさらにご配慮をいただければありがたい。高体連は大体分かれている。
- フィギュアの選手は指導者がいないので、山形の子供たちも酒田に来るケースが多い。
- 県外の利用者で秋田の仁賀保が多い。本荘・仁賀保の多数の子供会が、スワンリンクに来ている。スワンリンクには羽生結弦さんのアイスリンク仙台にしか置いていないアシカそりがあり、それを目当てに来てくれる。小さい子供に凄く好評で、滑れない子供もいるので親子連れで来てくれる。子どもを乗せてお母さんが押している。
- スケートにスキーの子どもたちを連れて行くが、エッジの使い方など非常に勉強になる。

③【施設・設備等の状況】

- 今は冷凍機が壊れているので、セーブしながら運転している。
- 凝縮機の洗浄というのは水垢である。冷却の個所に塩素が付着してしまい、冷却できなくなる。去年、凝縮器からフロンガスが若干漏れた。でも壊れているわけではなかったのので、充填するだけで、営業には支障なかった。

④【他自治体等の状況（スケートリンク）】

- 山形の総合スポーツセンターのスケート場は、コロナ前で入場者数は約17000人。利用者のほとんどが一部の高校で占めている状況。
- 秋田のスピードリンクは非公認のリンクである。このリンクではテストができないため、秋田の選手は他県でテストを受けているという状態。
- 秋田は公認リンクということになっているが、ジャンプ・スピンの禁止である。選手は皆、岩手・仙台に行くことが多いようである。スワンリンクでは、ジャンプ・スピンを開放しているが、過去に事故はない。
- 他市の屋外リンクでは冷凍機が24時間回りっぱなしのケースがある。スワンリンクは、夜間、冷凍機は止まっている。シーズン当初の氷を作るまでは冷凍機を24時間回しているが、氷ができるとほとんど停止している。だからランニングコストは照明だけである。夏場と同じく冬場も照明代だけである。少し暖かくなると自動的に冷凍機が回るが、夏暑くて冬寒い体育館なので、断熱設備が無く、外にいるのと殆ど変わらない。あまり温まらないので冷凍機はあまり動かない。運転時間は短い。
- リンクの貸し切り最低料金についてだが、東京は1時間約21000円に対して、スワンリンクは4000円強。東京はリンクが、閉鎖されてきているので、酒田にリンクが整備されたら、飛行機を使って合宿に来たいという声がある。
- 帯広市と八戸市に屋内の公式スピードスケートリンクがある。長野のオリンピックリンクは冬だけ稼働している。夏場、酒田に屋内の60m×30mのリンクが出来れば、そこでショートトラックの練習が出来るので、それで十分。
- 経営的に厳しいリンクは、仮設でバスケット場を作って、バスケットの試合もするなどして補っている。

⑤【スケートの課外授業】

- 課外授業は一般者がスケートをするきっかけになっているので重要である。リンクを作ったが、利用者が選手しかいないとか、一般客は誰もいないという例も多い。
- スワンリンクでの唯一の事故は、課外授業で先生が児童を撮影しようとして転倒して頭を打って怪我する場合である。児童は指導員がついて滑っているので、先生は滑らなくてもいいのだが、子供たちとコミュニケーションを取るために滑って転倒する。救急車の原因は、課外授業の先生方が多い。子供は一切怪我しない。

⑥【スケートの競技力の向上】

- 競技力を向上させるには、通年開設が必須。冬場だけだと、生徒は、夏は学校の部活に行ってしまうので、国体の出場資格獲得までは競技力が向上するが、競技実績を増やせない。
- スワンリンクは公式リンクではないので、他県に試合に行くが、今コロナなので出場させてもらえない。

⑦【部活動の地域移行関係】

- 部活動の地域移行に伴う体育施設についてだが、会場・指導者・お金・責任問題・安全関係について現在検討中。
- 小学校などは、体育施設として認められていないので使用料が発生しない(※酒田市立学校校舎使用条例により使用料が発生するが、同6条により減免している)。酒田市の体育施設は1時間200円～300円だが、それが減免になることは大切。コミュニティ内に残された体育館を使える様にしてほしい。酒田市内からだとは距離があるが、山手の方に移動してもらって使うことは可能ではないか。水洗トイレ、電気、用具もあ

る。

⑧【その他】

- 旧内郷小など、統合した小学校の体育館はまだ新しい所があるが、利用をどうするか。スクラップ&ビルドでいくか。長い目でみれば、サビも出てくる。駐車場も利用しやすいのだろうか。
- 親子スポーツ会館の様な合宿施設は、もう終わりの様だが、統一的な考え方で合宿所も含めた施設みたいなものもあればいいと思う。
- 少子化が進み、小学校の統合が進んだが、閉校になった学校施設は地域の避難施設にもなる。また平常時は体育館として使用できる。まだ築10数年しか経っていない学校施設もある。この様な施設が解放されれば、もっと施設としての有効性が高まるとも思われる。
- 地域の学校施設は、夜間、社会体育に開放している。スポ少の練習場所としても使っている。
- 社会体育についてだが、合併したことで松山・八幡・平田にそれぞれ体育館があり、利用者もいる。平田体育館は6065人も利用者がいる。数年前、体育館の床を剥いで、室内で野球、空手、グランドゴルフ、ゲートボールなど、冬場でも利用できる屋内練習施設のようになった。冬になると毎日のように野球・サッカーが市内から利用者がある。
- バレーボールとバスケットボールで卓球用のフェンスを使って壊すことが多い。他の用途に使うから壊れるので、更新の際は他の競技は使わないようにした方がいい。
- 近年はコロナの影響で、どの施設も稼働率が落ちているが、体育施設は稼働率がキープ出来ているように見える。しかし使わない施設は財政を非常に圧迫するので、市全体で考えていかなければならない。
- 鶴岡は今、旧市内と高校のスキー教室以外はスキーはやめてしまって、全部スケートになっている。
- 昔、東京にボーリング場をスケートリンクに改装した例があった。そのリンクも今、やっていない。以前、酒田にもプラスチックスケート場があったが、滑らなかった。オイルを撒くが、転ぶとズボンが油だらけになった。